

4 摂津市総合福祉施設「ふれあいの里」

I 多機能型事業所 「摂津市立ひびきはばたき園」

(1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行・就労継続支援B型と地域生活支援事業の移動支援・日中一時支援の各事業を実施した。

今年度は、29年度から事業実施するみきの路との相互乗り入れ体制で行うドアツードアや春・夏期休暇の廃止や、新規事業の自立訓練（生活訓練）を実施するために法人内や障害福祉課とも協議を重ねた。

また、サービス向上委員会と虐待・権利擁護委員会を発足し、利用者の苦情・要望・満足度の把握に努め、そのニーズを支援に反映させる取組みを行った。また、職員の専門性を高めるために資質向上・人材育成のため研修制度の見直し・充実に努めた。

今年度は、環境業務課・障害福祉課の協力のもと「小型家電リサイクル事業を10月より本格実施し、利用者の働く場を提供し、更なる就労拡大や工賃の向上などの充実に努めた。

その他、施設運営の透明性の確保と福祉サービスの質の向上を目指し、平成29年1月末に大阪府社会福祉協議会の実施する福祉サービス第三者評価を受審した。その評価概要の特に評価の高い点として、『課題について組織的な対応によって必要な改善に努めており、総体的に評価レベルが高くなっている。パソコン解体作業は、社会貢献的な意味合いを持っている。全国規模のネットワークが拡がりつつあり、成長・発展性のあるものとして高く評価できる。』、改善を求められる点としては、『マニュアルや個別支援計画等の仕組みについて、見直しの手順を明確にして、PDCAサイクルを確立していくことが求められる。』と評価を受けた。今後も施設の強み・弱みを正しく理解しより良い利用者サービスに努めていく。

(2) 支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取組みを実施した。その中でも、生産活動と園外活動については、内容を検討し充実に図った。そして、支援体制は、個別支援計画を基に5クラスに編成し療育活動、作業訓練、生活支援を中心にした活動を行った。個別性を重視し、また、本人のニーズを優先しながら個別支援計画を作成し、それに基づいたサービス提供を行った。

①個別支援

多様化した個別のニーズに応じるため、個別支援計画の作成、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

②支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、公的な制度サービスの活用に努めてきた。

平成24年2月に、当園が移動支援事業「てくてく」を開始して以降、積極的にガイドヘルパーの利用を促してきた。併せて、家族に対しても制度サービスの利用について働きかけた。

③日中活動の充実（療育機能・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全面の確保から、今までの活動内容・障がい程度を基準にしたクラス編成を行い、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきクラスの5クラスに編成し、個別プログラムに合わせた活動を行った。

また、理学療法士による、機能維持訓練や必要な利用者にはリハビリテーション実施計画書の作成、また、支援員への指導を行い日中活動の充実を図った。

そして、音楽療法とおやつ作りを引き続き実施した。音楽療法士による音楽療法は、音楽が持つ効果を活用して楽しく心身の健康・維持・向上を目指した。

おやつ作りでは、小グループで簡単な調理を経験し、食への興味や生活に活かす力を育むように取り組んだ。（全8回）

かがやきクラスでも、音楽療法を月4回、調理訓練を月3回実施した。また、講師派遣によるパソコン教室を実施した。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し、基本的な生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら、個人に応じた作業を取り入れ、和紙作業、制作活動・レクリエーションなど、個別の活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

個別の課題に応じた作業を取り入れ、和紙作業、運動・散歩・レクリエーションなど情緒面での安定を得ることで、集団を意識できる活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業の導入が必要な利用者に対して、和紙作業を通して生産活動を行ったり、制作活動・レクリエーションなどの集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を個別に実施した。音楽療法・調理訓練や作業療法・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を実施した。

④生活支援

利用者一人ひとりのニーズに応えるために個別支援計画（6ヶ月ごとに見直し）をもとに個別へのアプローチ、個々に応じたサービス支援を行った。緊急時の対応としても、その場その場で必要に応じた適切な支援を行った。

■就労移行支援・就労継続支援B型

就労移行支援では、日々の訓練で「就労する」素地を育み、就労活動・求職活動に積極的に取り組んだ。その結果、今年度は3名の就労が決定した。また、就労継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき等の関係機関とも、昨年同様に連携を強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供を基本に、「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きかけにより、官公需要や地域の企業からの作業受注により作業指導の活性化を図った。さらに、作業資材の入出荷、製品の配達や材料等購入などに利用者を同行させることで、社会との関わりを深める支援を行った。(株)ダイキンサンライズ摂津から受注した電気部品のコード巻き作業では、細かな点検や正確で安定した作業を評価いただき、品質功労賞を受賞した。

その他、市からの業務委託事業（食品トレー選別作業）に8名の利用者と職員で従事した。施設外就労として、就労移行支援利用者と就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

小型家電リサイクル事業を、環境業務課・障害福祉課の協力の下、平成28年10月より開始した。パソコンの解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり、充実した作業の提供ができた。

①作業指導におけるクラス体制と還元金の配分

今年度も窯業・園芸作業と軽作業の2クラス体制で取り組む中で、固定したクラス配置ではなく課題に沿った訓練資源の利用を行い、個別支援計画（就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。軽作業部門では3業種の作業を行い、定期的に園芸作業等も取り入れた。個別支援を充実させながら、作業量の拡大により安定した還元金の配分にもつながった。

②生活支援プログラムの充実

定期的なプログラムとしては、利用者の個別ニーズに即した内容（自治会・情報提供・運動）を実施した。

③主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④家庭生活、地域生活支援

利用者個別の家庭生活支援や地域生活支援を個別支援計画に基づいて実施した。

また、個々の事情により生活全般の支援が必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課や相談支援事業所と連携しながら家庭生活支援を行った。

前年度に引き続き、家族からの支援が望めない諸事情のある利用者について「一人暮らし・自立」への全般的な地域生活支援を実施した。また、障害者福祉課・生活支援課・相談支援事業所・その他関係機関と連携を強化しつつ、当園が軸となって支援を推し進めた。その他、「健康で安心・安全な生活が送れるよう」通院支援も実施した。

⑤ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への一般の方の関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育への協力と捉え、積極的に受け入れてきた。

⑥その他

施設支援計画や機関誌など、利用者への情報提供や案内文等には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦作業指導

■就労移行支援

- ・ 窯 業 市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、楽土市やバザーへの出店のための製品作りや干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作をこなした。また、就労継続B型の利用者が、干支作業の一部に取り組むことで、作業の連携も図った。
- ・ 園 芸 ふれあいの里の一角を園芸用地とし、季節に応じた野菜や花を栽培し、ふれあいの里利用者の方々やバザーで販売した。また、園芸作業の経験を生かし、ふれあいの里内の草木の環境整備も担った。

■就労継続B型

- ・ 軽作業 株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業と、サンキョーサポートからの建材電気設備部品等の作業を受注した。また、不定期作業として障害福祉課より「障害者週間」の啓発のカイロの袋詰め作業などを行った。また、毎月1回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組んだ。作業量が安定したことで、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。
- ・ 食品トレイ選別作業
摂津市内から集められた食品トレイを、分別・選別を行い、リサイクルとゴミに分けた。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。
- ・ 小型家電リサイクル作業
主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を取りだし、作業の充実だけでなく、工賃の向上にも繋がった。

⑧就労活動・求職活動

■就労移行支援

(人)

実施日	内 容	参加者
4月18日 ～5月9日	大阪染工株式会社 実習	1
6月7日	高槻市雇用促進フェア 障がい者合同就職面接会	1
9月2日	ハローワーク茨木へ求職活動	6
9月7日	〃	2
9月12日 ～9月13日	株式会社サポート21 たのしい家大隅 実習	1
9月21日 ～9月28日	株式会社くらコーポレーション摂津店 実習	1
11月18日	ハローワーク茨木へ求職活動	1
11月22日	茨木市障がい者就労支援フェア合同面接会	1
12月26、27日	フラワーショップ林 実習	2
3月6日 ～3月10日 3月21日 ～3月31日	大阪染工株式会社 実習	1
3月13日 ～3月17日	〃	1

⑨生産活動

(ア) 作業種目別収入状況

(円)

	内 容	年間収入	事業所
就 労 移 行 支 援	陶芸作業	405,150	
	園芸作業	59,810	
	清掃作業	170,100	株式会社セラ
	バザー、記念品等	609,361	
	空缶・古紙回収	58,374	
	食品トレー選別作業	1,363,910	環境業務課
	収入合計	2,666,705	※預金利息は含まない

(円)

就 労 継 続 支 援 B 型	内 容	年間収入	事業所
	電気部品の加工作業	414,240	(株)ダイキンサンライズ摂津
	建材電気設備部品作業	690,524	サンキョーサポート
	100円ショップ商品 梱包	48,758	(株)アイールコーポレーション
	ティッシュ袋詰め	12,000	産業振興課
	うちわ作業	24,000	NPO法人 摂津市サポート ビューロー
	〃	7,370	第5回わいわいがやがや祭り
	使い捨てカイロ袋詰め	33,000	障害福祉課
	建設会社DM作業	197,500	エッグ住まい工房
	小型家電解体作業	235,566	摂津市役所、一般持ち込み等
	食品トレー選別作業	6,823,455	環境業務課
	収入合計	8,486,413	※預金利息は含まない

(イ) 作業収入状況

就労移行支援

(単位：円)

月	工賃収入	工賃支出	一人当たり	作業日
4	98,460	13,805	3,451	19
5	126,060	14,256	2,851	19
6	63,721	17,982	3,596	22
7	48,780	22,253	3,709	20
8	15,124	22,320	3,720	21
9	388,600	24,780	4,130	19
10	38,898	17,200	2,867	19
11	89,420	15,805	3,951	20
12	272,376	11,429	2,857	19
1	99,650	13,579	3,395	19
2	16,884	15,051	3,763	20
3	44,830	14,513	3,628	20
一時 金	8月(3カ月)	46,843	7,807	
	12月(4カ月)	62,268	15,567	
	3月(6カ月)	80,292	20,073	
合計	1,302,803	392,376	85,365	237

就労継続 B 型支援

(単位：円)

月	工賃収入	工賃支出	一人当たり	作業日
4	122,389	60,750	3,797	19
5	136,423	62,000	3,875	19
6	96,130	65,528	4,096	22
7	98,126	65,196	4,075	20
8	91,967	65,031	4,064	21
9	112,950	66,125	4,133	19
10	107,630	71,625	4,477	19
11	191,336	72,914	4,557	20
12	149,036	71,125	4,445	19
1	115,928	66,250	4,141	19
2	141,954	67,927	4,245	20
3	289,644	69,708	4,357	20
一時金	8月(4カ月)	253,889	15,868	
	12月(3カ月)	206,625	12,914	
	3月(5カ月)	410,546	25,659	
合計	1,653,513	1,675,239	104,703	237

* 食品トレー選別作業

(単位：円)

月		工賃支出	一人当たり	作業日
4	@710×時間	708,935	88,617	20
5		684,440	85,555	19
6		783,130	97,891	22
7		725,265	90,658	20
8		734,495	91,812	21
9		658,525	82,316	19
10		613,440	76,680	19
11		685,505	85,688	20
12		591,075	73,884	19
1		630,835	78,854	19
2		674,500	84,313	20
3		697,220	87,153	22
合計			8,187,365	1,023,421

※作業日については、行事等を含まない。

(3) 行 事

行事指導は、系統だてられた生活指導の一環として位置付け、種々の生活場면을導入し、レクリエーション的要素・学習的要素を含む取組みにより知識・経験の拡大を図った。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型 (人)

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
10月22日	摂津宥和会 運動会	市立三宅柳田小学校	利用者 生介 26 移行 4 B型 17	法人内の施設の利用者・OB とボランティアが参加の運動会
12月11日	風船バレーボール大会	〃	利用者 生介 16 移行 2 B型 12	市・市身体障害者福祉協会主催。休園日であるが、希望者で参加した。
12月22日	ジャンボ クリスマス会	身障老人福祉センター 集会室	利用者 生介 27 移行 4 B型 23	大阪人間科学大学人間科学部子ども福祉学科「チーム スイミー」による演奏をした。
2月18日 ～2月20日	つくっ展と輝けコンサート	市立コミュニティプラザ	利用者 生介 25 移行 2 B型 23	作品の成果発表の場として、また、地域との交流や福祉の啓発、そして、相互理解を目的とする。

■生活介護 (人)

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
6月23日	懇親会	作業室C	利用者 24 家 族 13	利用者・家族・職員が一同に会して、コミュニケーションを図り、音楽療法を楽しんだ。
6月2日	園外活動	ジユメイラオアシスカフェ	利用者 1	園外に出ることで社会性を高め、日常生活では得ることの出来ない体験を味わうことを目的とする。
6月24日		太陽が丘	利用者 2	
7月5日		市立西河原市民プール	利用者 4	
7月8日		〃	利用者 4	
9月9日		摂津峡	利用者 5	
10月17日		レストランメイブーム	利用者 3	
10月25日		阪急エキスポパーク・プール	利用者 2	
11月10日		〃	利用者 3	
11月18日		エキスポシティ	利用者 3	
1月13日		ジユメイラオアシスカフェ	利用者 2	

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
1月24日	園外活動	サンマルクカフェ	利用者 2	
3月14日	スプリングフェスタ	作業室C	利用者 22 家 族 13	1年間の終わりに利用者・家族・職員が一同に会して、家族とのコミュニケーションを図った。

■生活介護かがやき

①食事会

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容
6月1日	食事会	旧琵琶湖ホテル びわ湖大津館	利用者 4	園外に出て、食事を 楽しむことで、潤い のある園生活を送る ことを目的とする。
6月7日			利用者 4	
6月20日			利用者 3	

②社会見学

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容
11月17日	社会見学	アサヒビール大山崎 美術館	利用者 5	日常生活で、外出が 困難な利用者が園外 に出て、経験の枠を 広げて、潤いのある 園生活を送ることを 目的とする。
11月22日			利用者 5	
11月30日			利用者 4	

■就労移行支援・就労継続支援B型

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容
10月7日	体験学習	寝屋川市野外活動センター	利用者 移行 B型 7 22	自然に触れチーム ワークの大切さを学 び、食べることの 大切さを学ぶことを 目的とする。

(4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型

定例的な個別面談や家族会などにとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換などを行った。

項 目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援B型は年2回・就労移行支援は年4回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。

項目	実施日	内 容
家族会	5月19日	新入利用者紹介、新年度役員紹介、新年度支援体制・支援方針・年間行事計画、近況報告等について
	12月14日	年末の大掃除
	1月25日	春期・夏期休暇について、生活介護ドアツードア、新規事業（自立訓練・小型家電リサイクル事業）について
機関紙	毎月1日発行	当月の予定や利用者の全般的な様子を掲載し、毎月1日に発行した。
月課表	毎月1日発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 (生活介護のみ)
電話連絡	随時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即対応しなければならない場合に実施した。
その他	適時	家族の都合により、9時から17時の間で一時預かりをする。 登園時間外は、自力での登降園となる。

①ショートステイ先との連携

今年度は、ご家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、利用の際には利用者の様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

②医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③福祉事務所との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

(5) 法人内他施設との連携

・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター せつつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図った。

(6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウイルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図ってきた。

看護師の来園（月2回）時、薬品の整理や使用方法、健康面・衛生面での助言・資料提供等を受け、「保健だより」を発行して、より利用者が快適で安全な園生活を送ることができるように反映した。

また、利用者個人の健康管理面において、看護師の助言・指導によって、問題のある利用者や家族との懇談にも加わり専門的な立場からの助言、指導をしてもらうことで通院への促し、健康面に対する状況報告を的確に伝えることができた。

今後も、看護師等の専門職の助言、指導が重要となってくると考えられるため、専門職との連携を大切にしていく。

■生活介護

①環境整備

- ペーパータオルの設置
- 冷暖房調節・換気、温湿度計の管理
- 薬箱・体温計の整理・管理（作業室C）
- 医薬品管理
- 加湿器・空気清浄機の設置
- 男女更衣室・身障トイレに冷暖房の設置
- 業者による園舎内清掃、消毒
- ペダル式ゴミ箱の設置
- 手指などのアルコール消毒
- マスク

②健康の維持・管理

- 健康カード作成（個人データの整理）
- 排尿・排便のチェック
- てんかん発作の記録表
- 検温（体調不良時には随時）
- 血圧測定
- 体力維持のプログラム化
- 理学療法士による運動プログラム
- 配慮食・きざみ食・ブレンダー食の提供・パン粥の提供
- 家庭での体調の把握（連絡帳・送迎時ご家族からの聞き取り）
- インフルエンザ対策（手洗い・うがい励行 検温・視診）

③服薬管理

- 医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- 服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④衛生管理

- 加湿器・空気清浄機の洗浄
- 給食配膳などの前にアルペットEでの消毒
- 給食配膳時にエプロンと三角巾とマスクの着用
- 手拭き・口拭きタオルの持参（利用者各自）
- 日光消毒（セラピーマット）
- 消毒薬の管理… ①次亜塩素酸ナトリウム液（尿や嘔吐物や便や血液の付着した洗濯物・床・シャワー室・ポータブルトイレ容器・セラピーマット、トイレのつまみ・ドアの取手等のふきとり）
②エタノール液（体温計・爪切り使用後拭く）
- ペーパータオルの使用

■就労移行支援・就労継続支援 B 型

①環境整備：業者による園舎内消毒・薬品庫の整理、空気清浄機設置、ウェルパス、マスクの常備

②健康の保持増進：昼休みのラジオ体操、登園後のストレッチ、自治会でのゲームなど、楽しみながら運動を行った。

- ③感染症の発生防止対策：手指洗浄・消毒の徹底、うがいの励行、検温、清掃の強化及び機関紙などを通じて家庭での注意・配慮を促した。
- ④服薬管理：個人別定期通院・服薬状況表の提出を受け、ファイリングを行った。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型

- ①観察記録：利用者の生活状況を本人や家族の了解を頂き、必要に応じて医療機関に提供した。
- ②関係機関、医療機関との連携：主治医への接見や各種記録の提出。看護師の来園（月2回）時、保健衛生に関する助言、指導を受けた。

③作成資料

- (ア) 保健だより 年3回発行 (イ) 通院状況表
- (ウ) 服薬調査表 (エ) 健康チェックカード

④健康診断

(ア) 内科医検診

検診日	6月6日	11月7日
-----	------	-------

(イ) 血圧・脈拍測定

検診日	4月22日	10月3日
-----	-------	-------

*検診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

(ウ) 身体測定

測定日	4月22日	10月3日
-----	-------	-------

*検診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

(エ) その他検診、検査

歯科検診

検診日	6月14日
-----	-------

検尿

検診日	5月24日	9月14日
-----	-------	-------

(7) 給食の提供

給食で供する食事は、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指し、栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。

給食業務をウオクニ株式会社に委託して13年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。

また、研修会などの参加により多くの情報を得、利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。

また、サービス向上委員会において、給食のサービス向上のためのアンケートを実施し、その声を反映することができた。

食事は、あくまで個人的なものであることから個人が要求する栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。

また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。

給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

1. 給食会議の充実
2. 「給食だより（献立表）」の発刊（月1回）
3. 残食検査の実施
4. 食事提供状態の充実
5. 研修会の参加
6. 衛生管理の充実

(8) 利用者の状況

①通所状況 (在籍者数は月初の人数)

■生活介護

(人)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数(人)	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27	27	27	
支援日数(日)	19	19	22	20	21	19	21	20	20	19	21	20	241
延利用数(人)	417	407	484	449	439	411	437	405	394	378	415	413	5,049

■生活介護(かがやき)

(人)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数(人)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
支援日数(日)	19	19	22	20	21	19	21	20	20	19	21	20	241
延利用数(人)	69	69	91	84	80	78	89	85	82	63	85	85	960

■就労移行支援

(人)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数(人)	6	7	7	8	8	8	7	5	4	4	4	4	
支援日数(日)	19	20	22	20	21	20	19	21	19	19	20	20	240
延利用数(人)	100	99	134	144	154	141	112	90	54	62	73	71	1,234

■就労継続支援B型

(人)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数(人)	22	22	22	22	22	22	22	23	24	24	24	24	
支援日数(日)	19	19	22	20	21	19	19	20	19	19	20	20	237
延利用数(人)	366	370	446	401	417	384	446	446	433	409	454	449	5,021

②年齢別 (平成29年3月31日現在)

■生活介護

(人)

性別 \ 年齢	18~19才	20~24才	25~29才	30才~	計
男	0	4	3	9	16
女	0	2	6	3	11
計	0	6	9	12	27

■生活介護かがやき

(人)

年齢 性別	30～39 才	40～49 才	50～59 才	60～69 才	70～79 才	80～89 才	計
男	1	2	0	0	2	2	7
女	1	1	0	4	1	1	8
計	2	3	0	4	3	3	15

■就労移行支援

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	1	1	1	1	4
女	0	1	0	0	1
計	1	2	1	1	5

■就労継続支援 B 型

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	3	2	3	5	13
女	0	2	3	5	10
計	3	4	6	10	23

③手帳の所持

(ア)療育手帳 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

■生活介護

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	16	0	0	16
女	11	0	0	11
計	27	0	0	27

■就労移行支援

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	1	3	0	4
女	0	0	1	1
計	1	3	1	5

■就労継続支援B型 (人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	4	6	3	13
女	1	8	1	10
計	5	14	4	23

(イ) 身体障害者手帳 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

■生活介護 (人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	1	2	0	1	4
女	2	1	0	1	4
計	3	3	0	2	8

■生活介護かがやき (人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	6	1	0	0	7
女	3	5	0	0	8
計	9	6	0	0	15

(ウ) 障害支援区分 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

■生活介護 (人)

区分 性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	計
男	4	5	6	1	16
女	2	4	5	0	11
計	6	9	11	1	27

■生活介護かがやき (人)

区分 性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	計
男	1	1	2	2	1	7
女	1	1	1	3	2	8
計	2	2	3	5	3	15

④通園方法 (平成29年3月31日現在)

■生活介護 (人)

性別 \ 手段	通園バス	家族送迎	計
男	15	1	16
女	11	0	11
計	26	1	27

■生活介護かがやき (人)

性別 \ 手段	通園バス	家族送迎	計
男	7	0	7
女	8	0	8
計	15	0	15

■就労移行支援 (人)

性別 \ 手段	路線バス	自転車	計
男	2	2	4
女	0	1	1
計	2	3	5

■就労継続支援B型 (人)

性別 \ 手段	路線バス	自転車	徒歩	計
男	6	5	2	13
女	6	0	4	10
計	12	5	6	23

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 施設連絡会議 (月2回) | 2. 法人行事実行委員会 (随時) |
| 3. 作品展実行委員会 (随時) | 4. 職員会議 (随時) |
| 5. ケース会議 (随時) | 6. 給食会議 (毎月1回) |
| 7. サービス向上委員会 (毎月1回) | 8. 虐待防止・権利擁護委員会 (随時) |

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の任務分担、家族の緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練とふれあいの里消防総合訓練(通報、避難、消火訓練)を年2回実施した。

(人)

実施日	想定災害	訓練内容	参加者			
			利用者			職員
			生活介護	就労移行	就労B型	
4月11日	火災	火災報知器を鳴らして避難訓練	22	3	12	18
5月17日	〃	〃	25	2	13	19
6月8日	〃	ふれあいの里消防総合訓練	24	5	14	21
7月7日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	23	6	15	18
8月8日	〃	〃	21	5	10	17
9月12日	〃	〃	23	6	14	16
10月4日	〃	〃	24	6	14	19
11月1日	〃	ふれあいの里消防総合訓練	26	4	15	16
11月16日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	23	4	16	18
12月9日	〃	〃	21	1	15	19
1月17日	震災	〃	23	0	13	21
2月6日	火災	〃	21	3	13	17
3月15日	震災	〃	22	4	14	19

(11) 職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

①機関研修

研修日	研修名	場所	主催	職種
5月19日	送迎(福祉)車輛安全運転講習会	大阪国際交流センター	社団法人日本福祉車輛協会	運転手
5月24日	障がい者総合支援制度における指定事業者・施設集団指導	枚方市民会館	枚方市・寝屋川市	施設長
7月21日 22日	第39回てんかん基礎講座	大阪商工会議所	社団法人てんかん協会	支援員
8月19日	平成28年度強度行動障がい支援リーダー養成研修(基礎)	府立男女共同参画青少年センター	大阪府立自立相談支援センター	〃
8月24日	送迎(福祉)車輛安全運転講習会	新大阪丸ビル	社団法人日本福祉車輛協会	運転手
9月8日	2016年度特定非営利活動法人自閉症eサービス基礎講座 特性理解とteacch最新情報	西宮市総合福祉センター	自閉症eサービス	支援員
9月21日	平成28年度強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修) ファシリテーター	たかつガーデン	大阪府立自立相談支援センター	〃
9月29日	2016年度特定非営利活動法人自閉症eサービス基礎講座 評価から支援	西宮総合福祉センター	自閉症eサービス	〃
10月20日	2016年度特定非営利活動法人自閉症eサービス基礎講座 構造化のアイデア	〃	〃	〃
11月8日	第二回感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央ホール	大阪府社会福祉協議会	〃

研修日	研修名	場 所	主 催	職 種
11月10日	2016年度特定非営利活動法人 自閉症eサービス基礎講座 コミュニケーション	西宮総合福祉センター	自閉症eサービス	支援員
11月12日 13日	2016年度社会福祉士実習 支援者養成研修(実践研修)	関西大学堺キャンパス	大阪社会福祉士会	〃
11月28日	平成28年度強度行動障がい支 援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館たか つガーデン	大阪府立自立相談 支援センター	〃
12月5日	平成28年度強度行動障がい支 援者養成研修(実践研修)	〃	〃	〃
12月24日 25日	発達障がい、知的障がい 支援者対象SSTファーストレ ベル	大阪社会福祉指導セ ンター	大阪府社会福祉協 議会	施設長代 理
1月13日	障害者福祉事業所のためのBCP	国際障害者交流セン ター	国際障害者交流セ ンター	施設長
1月23日	災害時視覚聴覚障がい者支援 リーダー養成講座	〃	〃	支援員
1月24日	障がい者差別や虐待を防止する ために	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪 府地域福祉推進	〃
1月30日	地域貢献実務担当者研修会	〃	摂津市社会福祉施 設地域貢献委員会	施設長
〃	平成28年度第2回「知的障が いを伴う発達障がいのある方へ のこだわりへの理解と支援につ いて	大阪府立急性期・総 合医療センター	大阪府立障害者自 立相談支援セン ター	支援員
2月22日	障がい者の権利擁護と成年後見 研修	大阪府社会福祉会館	福祉と人権の研修 ネットワーク	〃
2月23日 24日	災害時要配慮者支援ボランティ アリーダー養成講座	国際障がい者交流セ ンター	国際障がい者交流 センター	〃
2月28日	平成28年度福祉人材確保 定着セミナー	大阪府社会福祉会館	大阪府社会福祉協 議会	施設長
3月6日	平成28年度第3回機関研修会 地域における困難ケースと刑事 司法アセスメントから支援の流 れを考える	大阪府立急性期・総 合医療センター	大阪府	支援員

②専門研修(栄養士研修)

研修日	研修名	場 所	主 催	職 種
5月30日	平成28年度 大阪府茨木保健 所管内集団給食研究会総会	茨木市福祉文化会 館	大阪府茨木市保健所管 内集団給食研究会	栄養士
6月10日	平成28年度 第1回 感染 症・食中毒予防対策講習会	吹田市文化会館 大ホール	大阪府社会福祉協議会	〃
8月17日	平成28年度衛生研修	摂津市立ひびきは ばたき園	摂津市立ひびきは ばたき園	〃
11月8日	ノロウィルス講習会	吹田市文化会館 大ホール	大阪食品衛生協会	〃
12月7日	特定給食講演会	枚方市市民会館大 ホール	大阪府・大阪市・堺 市・豊中市・高槻市・ 東大阪市・大阪府立大 学21世紀科学研究機 構「公衆栄養実践研 究センター」・社団法人 大阪府栄養士会	〃

③施設内研修（法人研修）

研修日	研修名	講師	職種
7月19日	クラウド勉強会	摂津宥和会	施設長 栄養士
7月29日	てんかん基礎講座伝達研修	支援員	支援員
8月17日	平成28年度衛生研修	(株)イーゾニック	施設長他
9月12日 20日 26日 10月3日 17日 24日 11月14日 12月12日	DVD研修（1・2・3巻） 自閉症の人が見ている世界	DVD視聴学習	支援員
9月16日	サービス提供の現場から組織で 虐待を防止する (伝達研修 9/27.28 .12/19)	障がい者支援施設くりのみ園 統括施設長 大崎年史 支援員	施設長他
9月27日 10月12日	防犯研修	摂津警察	〃
11月18日 22日	感染症予防対策講習会伝達研修	支援員	支援員
3月17日	SNS利用のルール～ 組織の一員として	労務コンサルタント 坂東嘉子	施設長他
3月30日	普通救命講習（AED）	摂津市消防本部	〃

(12) その他

①ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。受け入れに当たっては、より職員間の意識統一を図るため、ボランティア受け入れマニュアルをもとに受け入れ、定期的に会議を設けた。(人)

実施日	行事名	参加団体	人数
9月1・2・5日	ボランティア体験プログラム	大学ゼミ課題	1
9月20日	〃	退職をきっかけにボランティア参加	1
10月22日	第2回摂津宥和会運動会	関西外国語大学など	20
12月22日	ジャンボクリスマス会	人間科学大学子ども福祉学科	9
2月18日	第16回 つくっ展と輝けコンサート	関西電力労働組合 北摂支部 園のボランティア経験者	10

②実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することで、進路選択を行うため広く受け入れた。また、福祉事務所からの実習も受け入れ、広く障がい者福祉の啓発や福祉の人材育成に努めた。

(人)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
7月11日～7月15日	摂津支援学校	生活介護	1
7月25日～7月29日	〃	〃	2
8月1日～8月5日	〃	就労移行	1
8月22日～8月26日	〃	〃	1
8月29日～9月2日	〃	〃	1

(職場体験実習)

(人)

実習期間	学校・施設名	受け入れ先	人数
11月17日・18日	摂津市立第3中学校	就労移行	1

③アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなど直接的、間接的支援を実施した。

(13)日中一時支援事業

地域生活支援事業の日中一時支援サービスとして、障がい児・者に対し、長期休暇や放課後の預かりや、作業所利用者の平日休曜日や在宅障がい者の日中活動の場やご家族のレスパイトを目的に受入れを行ってきた。

今年度の受け入れ状況は、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた5クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないため児童の受入れは難しく、また障がい者の利用希望もなかった。

(14) 移動支援事業（ガイドヘルパー派遣事業）

①概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣した。今年度も利用者からの要望をもとにグループ支援や特別企画として、春休みに外出先を企画（万博公園記念文化園）し、余暇の充実のためのサービス提供を行った。

②事業の状況

*移動支援サービスの提供状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護あり	件数	27	31	26	27	27	25	24	25	28	24	22	24	310
	時間	111	161	92	119.5	99	105.5	92	104.5	120	95.5	73	90.5	1,263.5
	平均	4.1	5.1	3.5	4.4	3.6	4.2	3.8	4.1	4.2	3.9	3.3	3.7	3.99
身体介護なし	件数	7	6	4	7	10	7	5	6	3	2	2	6	65
	時間	50	44.5	28	48.5	57	51	35	47.5	22.5	12	15	46.5	457.5
	平均	7.1	7.4	7	6.9	5.7	7.2	7	7.9	7.5	6	7.5	7.7	7.08
合計	件数	34	37	30	34	37	32	29	31	31	26	24	30	375
	時間	161	205.5	120	168	156	156.5	127	152	142.5	107.5	88	137	1,721
	平均	4.7	5.5	4.0	4.9	4.2	4.8	4.3	4.9	4.5	4.1	3.6	4.5	4.5

*利用者契約者の状況（平成29年3月31日現在）

(人)

		人数	合計
障害種別	知的障害	49	54
	身体障害	5	
	精神障害	0	
身体介護あり		29	54
身体介護なし		25	
療育手帳	A	31	54
	B1	18	
	B2	5	

＊主催事業

利用者からの要望をもとに外出先を企画し、支援を行った。

③職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

(人)

研修日	研修名	場所	参加者
7月21日 22日	てんかん基礎講座	大阪商工会議所	1
11月 8日	第二回感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央ホール	1

④各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を開催した。

(人)

実施日	内容	参加者
5月30日	会議（計画書等書類の書き方・見直しグループ支援について）	10
6月2日	会議（ニーズ調査）	6
6月7日	〃	5
7月25日	〃	5
3月24日	会議（計画書等書類の書き方・見直しグループ支援について）	3